

2026.6.1

第15号

広報

せきかわ連合



発行 関川地区土地改良区連合
 責任者 理事長 野口 和広
 〒943-0185
 新潟県上越市大字長面14番地1
 TEL 025-524-8800
 FAX 025-522-5724
 URL <http://www.sekikawarengo.com>
 E-mail info@sekikawarengo.com

子どもたちに残す「農地と用水」



焼山
(標高2400m)

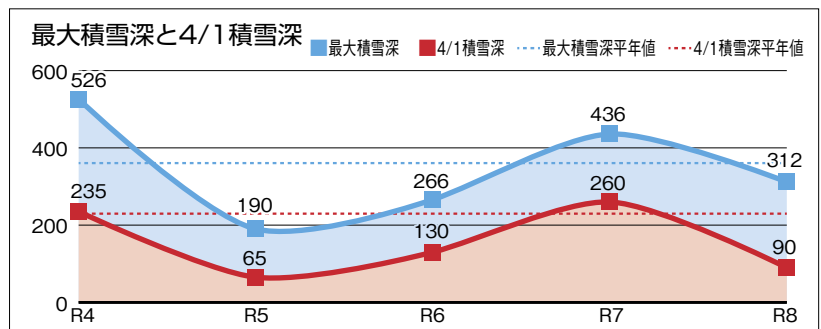


【表紙写真紹介】

- ・中央：今年の笹ヶ峰ダム（R8.4.14 撮影）
- ・左上：昨年の笹ヶ峰ダム（R7.4.17 撮影）

笹ヶ峰ダム積雪状況

今年の冬は、笹ヶ峰ダム周辺の最大積雪深は平年並みでしたが、2月以降まとまった降雪がなく、例年より早く融雪も進んだことから、4月1日現在の積雪は平年と比べると少ない状況になっております。



笹ヶ峰ダム貯水計画

5月上旬より貯水を開始し、5月中旬に満水にして管理を行う予定としています。

近年の異常気象や今年の積雪状況を鑑みますと、今後、水不足が懸念されますので、きめ細やかなダム水位調整を行い、かんがい期における用水確保に努めてまいります。

関川地区土地改良区連合

第55回通常議員総会（R8.3.16）理事長挨拶

第55回通常議員総会開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より、関川地区土地改良区連合の運営・業務にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当関川地区土地改良区連合は関川水系・和田・水上の3団体を所属土地改良区とし、国営造成施設「笹ヶ峰ダム」の施設管理者である新潟県より、ダム操作・機器保守点検等の業務委託を請け負っております。また、国営事業により造成された幹線用水路、頭首工等についても、農林水産省北陸農政局より維持管理を請け負っております。



関川地区土地改良区連合
理事長
野口 和広

さて、令和7年の梅雨入りは5月22日で、平年の6月11日よりかなり早い梅雨入りでした。梅雨明けも平年よりかなり早い6月29日であり、特に6月27日から平野部は降雨がなく、気象庁高田地点の7月の降雨量は平年200mmのところ、令和7年はわずか0.5mmと記録に残る少雨となりました。

また、気温も高い状態が続いたため、関川水系土地改良区では7月12日から番水を実施しました。

その後、8月7日にダム地点で日雨量115mmの降雨があり、また、8月10日～12日にかけて145mmの降雨があったため、ダム貯水が回復し、結果としては今期の農業用水は支障なく供給できたと考えております。

なお、今冬の笹ヶ峰の積雪は、今日現在で189cmと平年の7割程度の積雪となっており、例年より少ない残雪となっています。今後の雪解けの状況によりますが、現時点では春先の用水不足の懸念はないものと考えています。

今般「笹ヶ峰ダム」は、設備の劣化が進んだため、平成26年より、国営かんがい排水事業「関川用水地区」による設備の改修・更新工事等が実施され、令和7年度に事業完了となりました。

しかしながら、ダム貯水池内の堆砂は、近年、多発する豪雨により増加していることから、現時点で有効貯水量の約1割が減少しており、今後も毎年2万m³が減少する予測となっています。このままの状況が続くと、近い将来、ダムの貯水量不足の発生が懸念されます。このため、今後も堆砂対策の一日も早い着工に向け、積極的に農政局に働きかけていく必要があると考えています。

このように依然として課題はございますが、関川地区土地改良区連合は、先人たちが遺してくれた「笹ヶ峰ダム」や「野尻湖」をはじめ、幹線用水路、頭首工を適切に維持管理し、農業用水を安定供給することで農業生産及び農業経営の向上に努める所存であります。

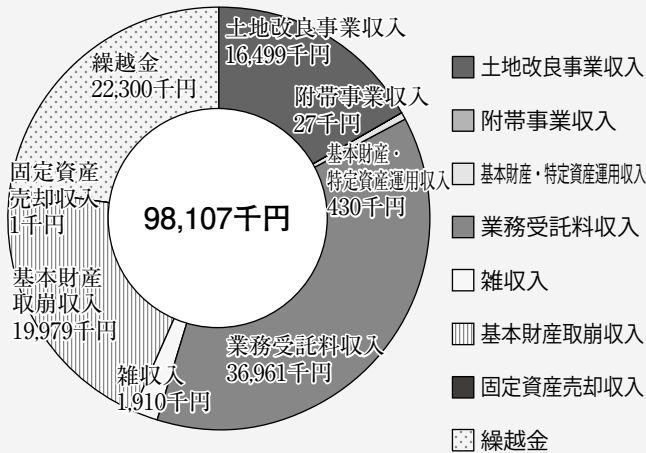
令和8年度事業計画及び予算

事業計画

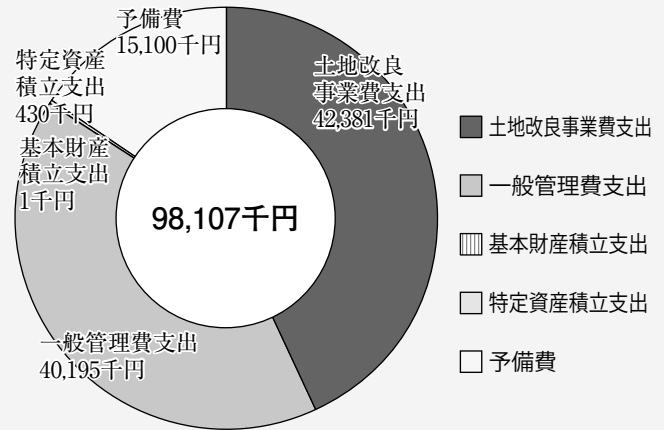
- 1 直轄地すべり対策事業の促進
 - ・国営土地改良事業関川用水地区推進協議会を主体に国等へ要請
- 2 笹ヶ峰ダムの抜本的な堆砂対策について
 - ・毎年2万m³の堆砂が想定される中、抜本的対策の早期実施を国・県へ要請
- 3 笹ヶ峰ダムの管理について
 - ・近年多発する渇水等異常気象に備えたダム貯水計画と、万全な用水の供給体制の構築

令和8年度一般会計予算計画

【収入】

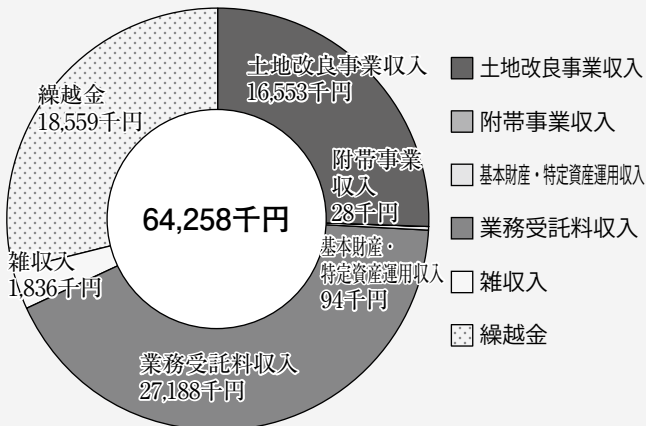


【支出】

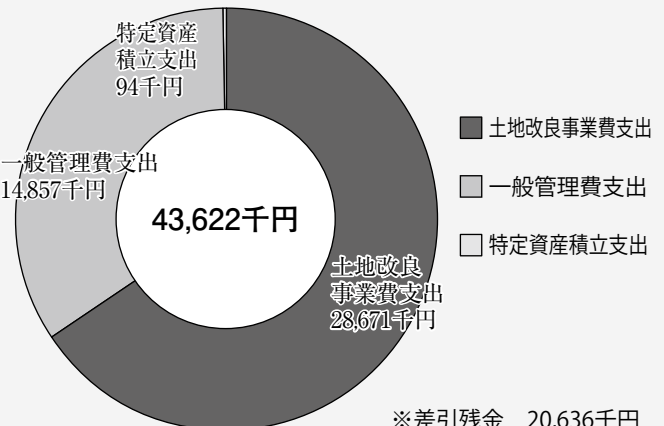


令和6年度一般会計決算報告

【収入】



【支出】



※差引残金 20,636千円
(R7年度へ繰越)

北陸農政局関川用水土地改良建設事業所閉所に伴う 看板終幕並びに閉所式の挙行について



前歴事業（昭和43～58年度）により造成され、竣工後35年以上が経過し老朽化が進んだ施設（笹ヶ峰ダム・幹線水路・水管理施設）の改修、及び、小水力発電所の新設を目的に、約12年にわたり実施されておりました「国営かんがい排水事業「関川用水地区」」が、令和8年3月31日に事業完了となりました。

このことについて、令和8年3月12日に事業所の看板終幕（看板取り外し）、及び閉所式（会場：関川水系土地改良区）が執り行われました。

当日は、上越市長、妙高市長をはじめ、北陸農政局農村振興部長、新潟県上越地域振興局農林振興部長、関川用水土地改良建設事業所長、関川地区土地改良区連合理事長ほか総勢29名が出席され、本事業の完了を祝いました。

退職挨拶



前事務局長
樋口 正弘

私こと、このたび関川地区土地改良区連合を退職することとなりました。

令和2年に県を定年退職した後、これまで6年間関川地区土地改良区連合に勤務させて頂きました。

在職中は、国営かんがい排水事業「関川用水地区」の事業推進や、基幹的農業水利施設の維持管理にあたり、関係土地改良区及び関係行政機関の皆様、そして地域の皆様から、温かいご支援とご指導を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

異常気象による渇水や、国営かんがい排水事業によるダム設備等改修への対応など、課題に直面する場面もございましたが、その折々に、先人が築かれた基盤と、皆様の協力のもとで乗り越えることができましたことは、私にとって何にも代えがたい経験であり、大きな誇りでございます。

今後は、一人の地域住民として、これまでと変わらぬ思いで地域の農業と農村の発展を見守りさせていただきたいと存じます。